

千代田中学校だより  
**自ら一歩前へ**

平成30年5月10日  
第4号  
校長 山田正彦

一人ひとりが輝き  
笑顔と感動があふれる学校

## さらなる高みを目指して

いよいよ体育祭本番が近づいてきました。学年での練習もですが、応援合戦やソーランの練習にも力が入ってきました。両組に分かれての練習では、3年生の団長やリーダーが、声を張り上げ全体に「カツ！」



【練習の作戦を練る本部】

を入れたり、身振り手振りを交えながら丁寧に指導したりと必死に動いている姿に、「頑張っているな」というよりも、感動に近いものを感じます。また、内心では時間との闘いもリーダーのみなさんはしていることでしょう。



【行進の練習】

廊下に掲示してある3年生の決意文には、「中学校生活最後の体育祭。一致団結して全力を出し切り最高の体育祭にする」「後輩をしっかりと引っ張って、昨年度の体育祭よりももっと盛り上げる」「最後の体育祭だから、思い切り楽しむ」など、「最後」という特別な思いも加わり、熱いものを感じます。体育祭最優先期間に入り、午後からは全校生徒のかけ声やダンスの音楽が校長室にもガンガン響いてきます。まさに君たちの熱い鼓動が伝わってきます。

そして、迎えた予行練習では、入場

行進から一通り最後のソーランまで各種目を流していき、はじめの開会



式りハーサルで、私が皆さんに伝えたことを覚えてくれていますか。「おしい！」と伝えたことです。入場行進のかけ声や腕ふり、確かに一生懸命がんばっている生徒が多いです。でも、多いということは、「一蓮托生」にはなっていないですよ。「全員が」になることを君たちはめざしているのですから、そこまで今年度の体育祭を高めていきませんか。入場行進だけでなく、ラジオ体操や各種目は自分自身どうでしたか。最後のソーランはどうでしたか。一人ひとりがここで一度振り返り、本番に向けてもう一段ギアアップをしていきましょう。

ちなみにはじめて全体でのソーランを見させてもらいました。



【ソーランの練習】

1年生は、この短期間の練習で舞う順番をよく覚えたなど感心しました。でも、ここで2・3年生も含めて全員が満足したら、君たちの姿を小学生の後輩達は、憧れのまなざしでは見ないと思います。次は、いかにカッコよく、いかに迫力をもたせて舞うかです。かけ声の気合、指の先までいきとどいた神経、体全体を大きくつかった躍動感のある動きなど、もう一段も二段も舞の質を上げることが君たちにはできます。残された日にちはありませんが、本番を向かえるまでもう少し時間があります。生徒会長の指揮のもと、「一蓮托生」の思いを胸に秘め頑張りましょう。そして、応援合戦の方はまだ見させてもらってないので、これは本番までの楽しみにしておきます。後は、天気がよくなりますように！